

# 社会 なんて? が 知 っ て る よ

執筆 浜学園 駿台・浜学園 社会科 イラスト 高世えり子

きょうのお題

# Q

囲碁で使う碁石。つるつるしているみたいけど、なにからできているの？

# A

かつては石。いまは貝からできたものなどが高級みたい！



## わかる 1

### 古代の都から自然の石でできた碁石

碁は中国から伝わり、2千年以上の歴史がある。碁盤に白色と黒色の碁石を交互におき、より広い(より多くの)スペースを取ったほうが勝ち。日本でも古くから親しまれ、古代の遺跡からは碁石が見つかった。飛鳥時代の都、藤原京の跡地からは自然の石でできた碁石も出てきたんだって。

碁に関係することばもある。たとえば「一目置く」。碁は弱いほうが石を一つおいてからはじめる。ここから「相手の力に敬意を示し、一歩ゆずって接する」という意味をあらわす。「布石を打つ」もあてはまる。どんな意味か調べてみてね。

## わかる 2

### 聖武天皇の宝物に象牙の碁石

奈良時代の聖武天皇の宝物は東大寺(奈良県)の正倉院におさめられ、そのなかには碁石も！ 白色と黒色の石のほか象牙(ゾウのきば)を紺色と赤色で染め、デザインされた碁石もあった。そのころの日本は唐(中国)に遣唐使という使者を送っていた。そのひとりだった吉備真備が碁を伝えたという話もあったみたい。紫式部が平安時代に貴族の恋愛をえがいた『源氏物語』や、清少納言の随筆『枕草子』にも碁のシーンがある。戦国時代には武士が心得としたり、庶民が娯楽として楽しんだりするようになったと伝えられている。



●正倉院にのこされた碁のセットと琵琶をつつした明治時代の写真「正倉院宝物琴・碁・琵琶」の一部  
●碁を打つ貴族の女性をえがいた『源氏物語図巻面(空蝉)』の一部  
どちらも ColBase (https://colbase.nich.go.jp/) から

## わかる 3

### 那智黒と日向のハマグリが絶品

江戸時代の碁の本には「黒色の碁石は『那智黒』を絶品とする」とある。那智は和歌山県の地名だけど、とれるのは三重県の熊野だよ。泥やねん土がかたまってきた黒色の岩からつくる碁石は、いまも高級品だ。白色の場合、いまは日向(宮崎県)のハマグリの評価が高い。ほかの材料(原料)を用いる碁石もあるけど、日向のハマグリに勝るものはないともいわれている。

黒色と白色の石をくらべると、黒色のほうが少し大きい。人間の目には白色が大きくみえることから黒色を大きめに作り、みた目が同じ大きさになるように工夫しているんだって。



## まきもどし まとめノート

きょうの勉強をふり返ろう。まきもどすように「わかる3」からチェック！ 絵がヒントになるよ。おうちの人といっしょに答え合わせをしよう。

1 黒色と白色の碁石について、実際にはどちらが大きくなっているかな？



[ ]

2 白色の碁石で高級とされる材料は次のうちのどれ？

[ ドングリ アマグリ ハマグリ ]

3 奈良時代の天皇で、正倉院に宝物をのこしたのはだれかな？



[ 聖徳太子 聖武天皇 天武天皇 ]

4 「一目置く」の読み方で正しいのはどちらかな？



[ ひとめおく いちもくおく ]

社会科などで勉強する内容にかんする「なんて?」を取り上げ、隔週で解説します。みなさんが「なんて?」と思うことも教えてね。名前、学年、住所、電話番号を書いてメール(asasho@asagaku.co.jp)か、はがき〒104-8433朝日小学生新聞「社会 なんて? が知ってるよ」係へ。